

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

施策22 学び続ける力を育む学校教育の推進

1 学び続ける力の育成

【重点】

「人生100年時代」を豊かに生きるために必要な学力・体力・社会性を子どもたちが身に付けることができるよう、その基盤となる知識・技能、思考力や判断力、表現力等の向上を図り、生涯にわたり学び続ける力を育てていきます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	教育課題研究 ^{※1} の実施 6課題	教育課題研究の実施 6課題	教育課題研究の実施 6課題	教育課題研究の実施 6課題	教育課題研究の実施 18課題
	中学生パワーアップ 教室 ^{※2} の実施	中学生パワーアップ 教室の実施 150人	中学生パワーアップ 教室の実施 150人	中学生パワーアップ 教室の実施 150人	中学生パワーアップ 教室の実施 450人
	外国語教育の充実 小学校全校	外国語教育の充実 小学校全校	外国語教育の充実 小学校全校	外国語教育の充実 小学校全校	外国語教育の充実 小学校全校
	帰国・外国人児童生徒 への日本語教育等支 援	帰国・外国人児童生徒 への日本語教育等支 援	帰国・外国人児童生徒 への日本語教育等支 援	帰国・外国人児童生徒 への日本語教育等支 援	帰国・外国人児童生徒 への日本語教育等支 援
	体力づくり教室 5教室	体力づくり教室 5教室	体力づくり教室 5教室	体力づくり教室 5教室	体力づくり教室 15教室
経費(百万円)		84	83	85	252

※1 教育課題研究:学習者主体の視点を重視した教育の実現やそのためのICTの利活用の推進など、当面する教育課題について、教員や学校が連携・協働して行う研究

※2 中学生パワーアップ教室:生徒の学び残しやつまづきの解消を図ったり、もっと学びたいという学習意欲に応えたりするために補習の一環として行っている事業

2 ICTを活用した教育の推進

【重点】

児童・生徒に1人1台専用で配備したタブレット端末と学習支援ソフトやデジタル教材を効果的に活用し、一斉学習、個別学習、協働学習など様々な場面での情報収集や課題解決、意見の共有を通して情報活用能力を育成するとともに、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても子どもたちの学びを保障するため、ICTを活用した教育を推進します。

さらに、ICTを日常的に活用し、より効果的な授業を展開できるよう、教員のICT活用指導力を向上するための研修を実施します。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	タブレット端末の活用 推進 小中学校全校	タブレット端末の活用 推進 小中学校全校	タブレット端末の活用 推進 小中学校全校	タブレット端末の活用 推進 小中学校全校	タブレット端末の活用 推進 小中学校全校
	ICT活用研修の実施	ICT活用研修の実施	ICT活用研修の実施	ICT活用研修の実施	ICT活用研修の実施
	プログラミング教育 ^{※1} の 推進 小学校全校	プログラミング教育の 推進 小学校全校	プログラミング教育の 推進 小学校全校	プログラミング教育の 推進 小学校全校	プログラミング教育の 推進 小学校全校
経費(百万円)		35	33	33	101

※1 プログラミング教育:子どもたちが将来どのような職業に就くとしても普遍的に求められる「プログラミング的思考」(論理的思考)を育むため、小学校において令和2年度から必修化(算数、理科、総合的な学習等で実施)された教育内容

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

3 就学前教育の充実

就学前教育支援センターを拠点として、保育者の資質向上のための研修や様々な教育課題を解決につなげるための幼児教育アドバイザー^{※1}による就学前教育施設への情報提供・相談支援の実施など、区内すべての就学前教育施設の教育的支援を総合的・一体的に行います。

また、地域の就学前教育施設と小学校の連携を深め、幼保小連携担当者^{※2}の資質向上を図ることで、幼児期から児童期への学びを円滑につなげるための取組を進めます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	就学前教育研修の実施 12回	就学前教育研修の実施 12回	就学前教育研修の実施 12回	就学前教育研修の実施 12回	就学前教育研修の実施 36回
	就学前教育の調査・研究 教育課題研究の実施 子供園1園 成田西子供園協働研究の実施	就学前教育の調査・研究 教育課題研究の実施 子供園1園 成田西子供園協働研究の実施	就学前教育の調査・研究 教育課題研究の実施 子供園2園 成田西子供園協働研究の実施	就学前教育の調査・研究 教育課題研究の実施 子供園2園 成田西子供園協働研究の実施	就学前教育の調査・研究 教育課題研究の実施 子供園延べ5園 成田西子供園協働研究の実施
	幼児教育アドバイザーの配置 《3人》	幼児教育アドバイザーの配置 《3人》	幼児教育アドバイザーの配置 《3人》	幼児教育アドバイザーの配置 《3人》	幼児教育アドバイザーの配置 《3人》
	—	幼保小連携の充実に向けた研究の実施 1校	幼保小連携の充実に向けた研究の実施 1校	幼保小連携の充実に向けた研究の実施 1校	幼保小連携の充実に向けた研究の実施 延べ3校
経費(百万円)		1	1	1	3

※1 幼児教育アドバイザー:幼稚園や小学校の管理職経験者等で、区内の就学前教育施設(機関)を訪問し、保育観察やヒアリング等を通じて把握した課題について、解決に向けた助言を行うアドバイザー

※2 幼保小連携担当者:就学前教育施設及び小学校において、幼児期の教育と児童期の教育を円滑につなぎ、子どもの発達や学びの連続性の保障を図る幼保小連携の取組を担当する保育者及び教員

4 教員の働き方改革の推進

【重点】

学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、学校に求められる期待や役割は増加し、教員の業務負担の増大や長時間労働が大きな課題となっています。こうした中で、教員が心身の健康を保持しながら、本来の業務である学習指導や生活指導等に集中できる環境を整え、質の高い教育を持続発展していくため、教員の働き方改革を推進します。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	副校長校務支援員 ^{※1} の配置 《16校》	副校長校務支援員の配置 《16校》	副校長校務支援員の配置 《16校》	副校長校務支援員の配置 《16校》	副校長校務支援員の配置 《16校》
	スクール・サポート・スタッフ ^{※2} の配置 小中学校全校 特別支援学校	スクール・サポート・スタッフの配置 小中学校全校 特別支援学校	スクール・サポート・スタッフの配置 小中学校全校 特別支援学校	スクール・サポート・スタッフの配置 小中学校全校 特別支援学校	スクール・サポート・スタッフの配置 小中学校全校 特別支援学校
	区費教員 ^{※3} の効果的な配置・活用 10校	区費教員の効果的な配置・活用 10校 (累計20校)	区費教員の効果的な配置・活用 10校 (累計30校)	区費教員の効果的な配置・活用 10校 (累計40校)	区費教員の効果的な配置・活用 30校 (累計40校)
経費(百万円)		0	0	0	0

※1 副校長校務支援員:区立学校の副校長の業務(職員の出退勤状況の確認や休暇・出張の処理等)の補助を行う会計年度任用職員。

なお、会計年度任用職員とは、地方公務員法の規定に基づき任用される非常勤職員のこと

※2 スクール・サポート・スタッフ:区立学校の教員の事務負担を軽減するため、主に学習プリントや家庭への配布文書等の印刷・配布準備等の事務作業や感染症対策としての消毒作業等を行う会計年度任用職員(学校教育法施行規則における「教員業務支援員」としての位置付け)

※3 区費教員:区が独自に採用し、給与の負担をする教員(東京都内の公立学校に配置される教員は、東京都が採用及び給与負担を行うことが原則)

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

5 部活動の充実

生徒が互いに協力し合い友情を深めるなど、学校生活の中で部活動の果たす役割が大きいことから、部活動活性化事業^{※1}による指導者派遣や合同部活動の実施、指導補助としての外部指導員の配置のほか、部活動指導員の配置や「学校施設の有効活用」の取組^{※2}と連携した新たな部活動支援を実施し、部活動の充実を図ります。

また、より効果的に部活動を支援するため、各事業の実施と並行して部活動支援のあり方について検討し、必要に応じて見直しを行います。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	部活動活性化事業の実施 プロフェッショナル指導の実施 合同部活動の実施 外部指導員研修の実施	部活動活性化事業の実施 プロフェッショナル指導の実施 合同部活動の実施 外部指導員研修の実施	部活動活性化事業の実施 プロフェッショナル指導の実施 合同部活動の実施 外部指導員研修の実施	部活動活性化事業の実施 プロフェッショナル指導の実施 合同部活動の実施 外部指導員研修の実施	部活動活性化事業の実施 プロフェッショナル指導の実施 合同部活動の実施 外部指導員研修の実施
	外部指導員の配置 360回/校	外部指導員の配置 360回/校	外部指導員の配置 360回/校	外部指導員の配置 360回/校	外部指導員の配置 1,080回/校
	部活動指導員の試行配置 4人	部活動指導員の配置 2人 (累計6人)	部活動指導員の配置 2人 (累計8人)	部活動指導員の配置 4人 (累計12人)	部活動指導員の配置 8人 (累計12人)
	「学校施設の有効活用」の取組における部活動支援 モデル実施	「学校施設の有効活用」の取組における部活動支援 モデル実施・検証	「学校施設の有効活用」の取組における部活動支援 実施	「学校施設の有効活用」の取組における部活動支援 実施	「学校施設の有効活用」の取組における部活動支援 モデル実施・検証 実施
	—	—	効果的な部活動支援のあり方検討	効果的な部活動支援のあり方検討・見直し	効果的な部活動支援のあり方検討・見直し
	経費(百万円)	77	77	77	231

※1 部活動活性化事業:技術指導が困難な顧問教員の負担軽減のため、区が技術指導を専門事業者等に委託し、専門性のある指導資格を有したコーチが部活動の指導を行う事業

※2 「学校施設の有効活用」の取組:区民の健康スポーツ活動の一層の活性化を図るため、学校における体育施設を有効活用する仕組みを構築する取組。民間事業者等を活用し、部活動支援と一体的に進めていく(関連する取組:77ページ、91ページ)

6 地域と共にある学校づくりの充実

【重点】

保護者や地域住民等が学校運営に参画する地域運営学校(学校運営協議会)を特別支援学校にも拡大します。また、学校の様々な教育活動を支援する学校支援本部と一層の連携を図ることにより、地域の多様な大人が教育の担い手として子どもの学びを支え、子どもとのかかわりを通して大人自身も学びを深めていく、地域と共にある学校づくりを充実します。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	地域運営学校 小中学校全校	地域運営学校 検討 1校 (累計小中学校全校)	地域運営学校 新規 1校 (累計小中学校全校・特別支援学校)	地域運営学校 (累計小中学校全校・特別支援学校)	地域運営学校 検討・新規1校 (累計小中学校全校・特別支援学校)
	地域の特色や自校の課題に応じた学校づくり 小中学校全校	地域の特色や自校の課題に応じた学校づくり 小中学校全校	地域の特色や自校の課題に応じた学校づくり 小中学校全校	地域の特色や自校の課題に応じた学校づくり 小中学校全校	地域の特色や自校の課題に応じた学校づくり 小中学校全校
	経費(百万円)	9	10	9	28

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

施策23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進

1 特別支援教育の充実

【重点】

障害等により特別な支援が必要な子どもの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加を促進するよう、個別の教育的ニーズに応じた支援体制を充実するとともに、発達の違いや特性のある子どもたちが、就学前後の切れ目ない支援と一人ひとりの発達段階に応じた適切な教育を受けられるよう相談支援を実施します。

また、特別な配慮を必要とする幼児の学びや発達の支援について一層の充実を図るため、就学前教育施設の保育者を対象とした教育支援相談を実施します。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	学習支援教員の配置 小中学校全校	学習支援教員の配置 小中学校全校	学習支援教員の配置 小中学校全校	学習支援教員の配置 小中学校全校	学習支援教員の配置 小中学校全校
	通常学級支援員の配置 51人 通常学級介助員ボランティア ^{※1} の配置 延べ5,000日	通常学級支援員・ 通常学級介助員ボランティアの配置	通常学級支援員・ 通常学級介助員ボランティアの配置	通常学級支援員・ 通常学級介助員ボランティアの配置	通常学級支援員・ 通常学級介助員ボランティアの配置
	就学前後の切れ目ない 相談支援の実施	就学前後の切れ目ない 相談支援の実施	就学前後の切れ目ない 相談支援の実施	就学前後の切れ目ない 相談支援の実施	就学前後の切れ目ない 相談支援の実施
	就学前教育施設を対 象とする教育支援相談 の実施	就学前教育施設を対 象とする教育支援相談 の実施	就学前教育施設を対 象とする教育支援相談 の実施	就学前教育施設を対 象とする教育支援相談 の実施	就学前教育施設を対 象とする教育支援相談 の実施
	経費(百万円)	11	12	12	35

※1 通常学級介助員ボランティア:通常の学級において特別な支援を必要とする児童・生徒が安心して学校生活を送るために、安全確保及び教育活動に必要な介助を行うボランティア

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

2 教育相談体制の充実

【重点】

いじめや不登校のみならず、教育相談の内容が多様化していることから、子ども一人ひとりを中心に据え、それぞれの悩みや課題、背景要因に適切に対応できるよう、教育相談体制の充実を図ります。また、さざんかステップアップ教室^{※1}やICTの活用等による多様な学びの機会の確保など、不登校児童・生徒の個々の状況に応じたきめ細かな支援を行います。

3(2021)年度末(見込)		4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	教育相談の実施	教育相談の実施	教育相談の実施	教育相談の実施	教育相談の実施
	教育相談グループ ^{※2} の実施	教育相談グループの充実	教育相談グループの充実	教育相談グループの充実	教育相談グループの充実
	ふれあいフレンド ^{※3} の派遣	ふれあいフレンドの派遣	ふれあいフレンドの派遣	ふれあいフレンドの派遣	ふれあいフレンドの派遣
	さざんかステップアップ教室の運営	さざんかステップアップ教室の運営	さざんかステップアップ教室の運営	さざんかステップアップ教室の運営	さざんかステップアップ教室の運営
	スクールカウンセラー ^{※4} の配置 小中学校全校	スクールカウンセラーの配置 小中学校全校	スクールカウンセラーの配置 小中学校全校	スクールカウンセラーの配置 小中学校全校	スクールカウンセラーの配置 小中学校全校
	スクールソーシャルワーカー ^{※5} の派遣 小中学校全校	スクールソーシャルワーカーの派遣 小中学校全校	スクールソーシャルワーカーの派遣 小中学校全校	スクールソーシャルワーカーの派遣 小中学校全校	スクールソーシャルワーカーの派遣 小中学校全校
	学校の教育相談機能充実のための教員等の資質向上	学校の教育相談機能充実のための教員等の資質向上	学校の教育相談機能充実のための教員等の資質向上	学校の教育相談機能充実のための教員等の資質向上	学校の教育相談機能充実のための教員等の資質向上
	教育SAT ^{※6} 体制の充実	教育SAT体制の充実	教育SAT体制の充実	教育SAT体制の充実	教育SAT体制の充実
ICTを活用した学びの支援	ICTを活用した学びの支援	ICTを活用した学びの支援	ICTを活用した学びの支援	ICTを活用した学びの支援	
経費(百万円)		14	14	14	42

※1 さざんかステップアップ教室:不登校児童・生徒が、集団生活等を通して社会性を育み、社会的自立ができるよう支援することを目的とした教室

※2 教育相談グループ:不登校生徒が小集団で心理士との創作活動等を通して、安心できる人間関係をつくり、自分に合った学びの場を考えることを目的として行う教育相談

※3 ふれあいフレンド:不登校の区内在住の小・中学生を対象に、教育学科や心理学科の学生を派遣する事業

※4 スクールカウンセラー:いじめや不登校等の未然防止や解決、学校内の教育相談体制の充実のために配置している心理職の専門家

※5 スクールソーシャルワーカー:問題を抱えた子どもと家庭・地域・学校・関係機関等に対して調整・仲介役としての役割を担い、子どもを取り巻く様々な環境に働きかけ、子どもの生活改善を支援する福祉の専門家

※6 教育SAT:指導主事、学校管理職経験者、スクールソーシャルワーカーで構成され、学校の生活指導にかかわる課題解決力を向上するため関係部局や諸機関との連携を図りながら組織的な支援を行う仕組み

3 特別な支援を必要とする子どもを支える教育環境の整備

特別な支援を必要とする子どもが増加しており、今後も増えていくことが見込まれることから、一人ひとりがそれぞれの教育的ニーズに応じた、適切できめ細かな教育や支援を受けることができるよう、済美養護学校等の教育環境整備に取り組めます。また、特別支援学級で学ぶ児童数の増加と通学時間等の児童の負担を考慮し、小学校1校に新たに特別支援学級を設置します。

3(2021)年度末(見込)		4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	済美養護学校等の教育環境整備 検討	済美養護学校等の教育環境整備 設計0.6所	済美養護学校等の教育環境整備 設計0.4所 改修0.2所	済美養護学校等の教育環境整備 改修0.8所	済美養護学校等の教育環境整備 設計1所 改修1所
	小学校特別支援学級(知的障害固定級) 検討 (累計10校)	小学校特別支援学級(知的障害固定級) 設計1校 (累計10校)	小学校特別支援学級(知的障害固定級) 改修1校 (累計10校)	小学校特別支援学級(知的障害固定級) 開設1校 (累計11校)	小学校特別支援学級(知的障害固定級) 設計・改修・開設1校 (累計11校)
経費(百万円)		22	624	804	1,450

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

施策24 身近に活用できる教育環境の整備・充実

1 学校施設の有効活用の推進

学校施設を地域の公共財として一層活用し、地域スポーツ等への利用の幅を広げるため、学校における体育施設の有効活用の仕組みを構築します。構築に当たっては、学校教育で使用する時間外における学校施設管理権限の一部を教育委員会から区長部局のスポーツ振興を担当する部署へ移管することを視野に取組を進め、区民・団体によるスポーツ活動の推進を図ります。

また、地域スポーツにとどまらず、文化活動の振興等に資する学校施設の更なる有効活用の取組へとつなげていくため、先行する体育施設の活用状況も踏まえ、運動場以外の諸室等の有効活用のあり方についても検討していきます。

3(2021)年度末(見込)		4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	学校施設の有効活用 《1校》 モデル実施・検証	学校施設の有効活用 《1校》 モデル実施・検証	学校施設の有効活用 《1校》 モデル実施・検証 学校施設管理権限 (一部)の区長部局 への移管 拡大に向けた検討	学校施設の有効活用 《1校》 本格実施 拡大に向けた検討	学校施設の有効活用 《1校》 モデル実施・検証 学校施設管理権限 (一部)の区長部局 への移管 本格実施 拡大に向けた検討
	諸室等の利用拡大 検討	諸室等の利用拡大 検討	諸室等の利用拡大 検討	諸室等の利用拡大 検討・実施	諸室等の利用拡大 検討・実施
経費(百万円)		3	3	3	9

2 新しい学校づくりの推進

将来にわたる児童・生徒数の動向等を見据え、地域ごとの状況に応じた学校の統合・学区域の見直しや学校施設の老朽改築等を総合的に検討し、地域と連携・協力しながら、子どもたちに望ましい教育環境を提供していく新しい学校づくりを進めます。

また、「杉並区立小中学校新しい学校づくり推進基本方針」の見直しにおいては、児童数の増加に伴い教室が足りなくなる学校への対応や地域の公共財としての学校施設の活用の考え方等について、新たに示していきます。

3(2021)年度末(見込)		4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	小中学校新しい学校づくり推進基本方針 見直しの検討	小中学校新しい学校づくり推進基本方針 見直し	小中学校新しい学校づくり推進基本方針 運用	小中学校新しい学校づくり推進基本方針 運用	小中学校新しい学校づくり推進基本方針 見直し・運用
	新しい学校づくり個別 計画の策定 検討	新しい学校づくり個別 計画の策定 検討	新しい学校づくり個別 計画の策定 検討	新しい学校づくり個別 計画の策定 検討	新しい学校づくり個別 計画の策定 検討
経費(百万円)		0	0	0	0

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

3 区立小中学校の増改築

【重点】

学校施設は子どもたちが集い、学び、生活をする場であることから、安心して学校生活を送れるよう、「杉並区立学校施設整備計画(第2次改築計画)」に基づき、計画的に改築を進め、安全の確保と教育環境の向上を図ります。

また、学校施設が地域の公共財として児童・生徒だけでなく多くの地域住民の活動の場となるよう機能を充実させるとともに、災害時の防災拠点としての整備も進めます。

児童・学級数の増加に伴い教室の不足が見込まれる小学校については、適切な教室数を確保するために校舎の増築を進めます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	富士見丘小学校 改築 0.3校 環境整備工事 0.3校	富士見丘小学校 改築 0.3校 環境整備工事 0.3校	富士見丘小学校 改築 0.4校 環境整備工事 0.4校	—	富士見丘小学校 改築 0.7校 環境整備工事 0.7校
	—	—	富士見丘中学校 改築 0.1校 環境整備工事 0.1校	富士見丘中学校 改築 0.3校 環境整備工事 0.3校	富士見丘中学校 改築 0.4校 環境整備工事 0.4校
	杉並第二小学校 設計 0.2校 改築 0.2校	杉並第二小学校 改築 0.3校	杉並第二小学校 改築 0.5校	杉並第二小学校 環境整備工事 0.3校	杉並第二小学校 改築 0.8校 環境整備工事 0.3校
	中瀬中学校 設計 0.4校	中瀬中学校 設計 0.4校	中瀬中学校 改築 0.3校	中瀬中学校 改築 0.3校	中瀬中学校 設計 0.4校 改築 0.6校
	神明中学校 検討	神明中学校 設計 0.3校	神明中学校 設計 0.7校	神明中学校 改築 0.3校	神明中学校 設計 1校 改築 0.3校
	—	西宮中学校 検討	西宮中学校 設計 0.3校	西宮中学校 設計 0.7校	西宮中学校 検討 設計 1校
	—	—	杉並第一小学校 検討	杉並第一小学校 設計 0.3校	杉並第一小学校 検討 設計 0.3校
	—	—	天沼中学校 検討	天沼中学校 設計 0.3校	天沼中学校 検討 設計 0.3校
	—	—	—	老朽改築校 検討 2校	老朽改築校 検討 2校
	天沼小学校 増築 0.4校	天沼小学校 増築 0.6校	—	—	天沼小学校 増築 0.6校
高井戸小学校 増築検討	高井戸小学校 設計 1校	高井戸小学校 増築 0.6校	高井戸小学校 増築 0.4校	高井戸小学校 設計 1校 増築 1校	
経費(百万円)	1,809	7,919	3,894	13,622	

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

4 区立小中学校の長寿命化改修

「杉並区立学校施設整備計画(第2次改築計画)」に基づき、長寿命化が期待できる建物のうち築後40年目の建物について、機能や性能の劣化の回復を目的とした修繕に加え、社会的なニーズに対応するための機能向上を目的とした改修を盛り込んだ、長寿命化改修を実施します。

3(2021)年度末(見込)		4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	—	久我山小学校 長寿命化改修 0.3校	久我山小学校 長寿命化改修 0.3校	久我山小学校 長寿命化改修 0.4校	久我山小学校 長寿命化改修 1校
経費(百万円)		272	300	300	872

5 ICTを活用した図書館サービスの充実

「学びの場としての図書館」の一層の充実を図るため、区民の調査・研究活動に役立つ外部データベース^{※1}の提供等を進めます。また、ICタグシステム^{※2}を導入し、貸出返却の時間の短縮や、本の配架場所の迅速な検索、蔵書点検にかかる時間の短縮等に取り組むとともに、自動貸出機による貸出の自動化等を行い、利用者のプライバシー保護にも配慮した、より便利で快適に利用できる図書館サービスの提供を目指します。

3(2021)年度末(見込)		4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	外部データベースの提供 効率的な蔵書管理 検討	外部データベースの提供 ICタグシステムの導入 検討	外部データベースの提供 ICタグシステムの導入 検討・実施	外部データベースの提供 ICタグシステムの導入 検討・実施	外部データベースの提供 ICタグシステムの導入 検討・実施
経費(百万円)		1	1	1	3

※1 外部データベース:新聞・雑誌記事、判例・法令、百科事典などのオンライン情報を提供する商用のデータベース

※2 ICタグシステム:図書館資料にICチップとアンテナが組み込まれたタグ(ICタグ)を貼付し、非接触型の蔵書管理を行うシステム

6 図書館の整備

高円寺図書館を移転・改築し、多世代が利用できる(仮称)コミュニティふらっと高円寺南との複合施設として整備します。宮前図書館については、近隣の西宮中学校の改築に合わせて、中学校内への複合化を視野に、移転・改築を検討します。

また、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」等に基づき、高齢や障害等の理由から読書が困難な利用者に向けた様々な資料の収集や読書環境の整備を進め、図書館サービスの充実を図ります。

3(2021)年度末(見込)		4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	高円寺図書館 設計 0.5館 — 読書バリアフリーの 推進 DAISY資料 ^{※1} の製 作 高円寺地域の新たな 図書館 検討	高円寺図書館 設計 0.1館 改築 0.2館 宮前図書館 検討 読書バリアフリーの 推進 DAISY資料の製作 読書バリアフリー資 料 ^{※2} の収集・提供 高円寺地域の新たな 図書館 検討	高円寺図書館 改築 0.5館 宮前図書館 設計 読書バリアフリーの 推進 DAISY資料の製作 読書バリアフリー資料 の収集・提供 高円寺地域の新たな 図書館 検討	高円寺図書館 改築 0.3館 宮前図書館 設計 読書バリアフリーの 推進 DAISY資料の製作 読書バリアフリー資料 の収集・提供 高円寺地域の新たな 図書館 検討	高円寺図書館 設計 0.1館 改築 1館 宮前図書館 検討 設計 読書バリアフリーの 推進 DAISY資料の製作 読書バリアフリー資料 の収集・提供 高円寺地域の新たな 図書館 検討
経費(百万円)		379	250	809	1,438

※1 DAISY資料:視覚障害等により普通の印刷物を読むことが困難な方のために開発された国際基準規格のデジタル録音図書。音声DAISYと音声聞きながら画像を見るマルチメディアDAISYの2種類がある。DAISYはDigital Accessible Information Systemの略

※2 読書バリアフリー資料:読書バリアフリー法の理念に基づく、視覚障害者等が利用しやすい資料。点字図書、拡大図書、DAISY図書、音声読み上げ対応電子書籍、オーディオブック等がある

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

施策25 生涯にわたる学びの支援

1 社会教育士^{※1}の育成・活用

【重点】

他者とかかわりあいながら力を合わせてより良いまちをつくらうとする地域の人々を、学びを通してつなぎ、広げる取組を進めます。この取組を担う社会教育士の育成と効果的な活用を通じて人々の学びを支援することで、地域の中で主体性を持っていきいきと活動する人を増やし、豊かな地域づくりにつなげます。

3(2021)年度末(見込)		4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	—	社会教育士の育成	社会教育士の育成	社会教育士の育成	社会教育士の育成
	—	社会教育士を効果的に活用した学びの支援等の充実 検討	社会教育士を効果的に活用した学びの支援等の充実 実施	社会教育士を効果的に活用した学びの支援等の充実 実施	社会教育士を効果的に活用した学びの支援等の充実 検討 実施
経費(百万円)		1	1	1	3

※1 社会教育士:地域の教育、福祉、防災、環境、産業など様々な分野における学びの支援を通して、人づくりや地域づくりに携わる役割を担う専門人材の称号

2 出前型・ネットワーク型の学習機会の充実

誰もが気軽に学びに触れることのできる機会を提供するため、生涯学習分野の様々な事業を学校や社会教育施設をはじめとした区民に身近な地域の施設で実施します。また、民間企業や地域団体等との連携を深めることにより、区民の学習機会を充実させるとともに、新たな学びの担い手の発掘・育成につなげます。

3(2021)年度末(見込)		4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	—	郷土博物館の出前型事業の実施 1地域	郷土博物館の出前型事業の実施 1地域	郷土博物館の出前型事業の実施 1地域	郷土博物館の出前型事業の実施 3地域
	成人学習支援の充実 実施	成人学習支援の充実 実施	成人学習支援の充実 実施	成人学習支援の充実 実施	成人学習支援の充実 実施
	科学教育の推進 実施	科学教育の推進 実施	科学教育の推進 実施	科学教育の推進 実施	科学教育の推進 実施
	科学の拠点 ^{※1} 等の整備 設計 0.7所 改修 0.1所	科学の拠点等の整備 改修 0.6所	科学の拠点等の整備 改修 0.3所	—	科学の拠点等の整備 改修 0.9所
—	地域との連携による図書館サービスの充実 実施	地域との連携による図書館サービスの充実 実施	地域との連携による図書館サービスの充実 実施	地域との連携による図書館サービスの充実 実施	
経費(百万円)		16	438	23	477

※1 科学の拠点:広く子どもから大人まで世代を超えて科学に親しみ、生涯にわたって学び続けることができる機会を提供するため、身近な地域の施設に出向き科学の魅力発信等を行うとともに、日々進展する最先端の科学に触れ、いつ来ても新たな発見が得られる参加型・体験型の企画を提供する場

学び 共に認め合い、みんなでつくる学びのまち

3 地域と学校の協働活動の充実

誰もが教育の担い手として学び合い、教え合うことのできるまちを目指して、学校の教育活動を支援する学校支援本部や、地域の多様な主体が連携し子どもの育成や教育に係る課題解決に向けて取り組む地域教育推進協議会等の活動を支援します。

また、新たに配置する地域学校協働活動推進員^{※1}を中心に学校支援本部と地域教育推進協議会の取組を連携・強化するモデル事業を4中学校区で実施し、学校を地域における学びの拠点として、区民の多様な活動を推進します。

子どもも地域の一員であり、地域づくりの担い手であるという視点に立ち、中学生レスキュー隊^{※2}をはじめとして、様々な子どもの活躍の場を設けます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	学校支援本部の活動支援 小中学校全校	学校支援本部の活動支援 小中学校全校	学校支援本部の活動支援 小中学校全校	学校支援本部の活動支援 小中学校全校	学校支援本部の活動支援 小中学校全校
	地域教育推進協議会の活動支援 《4地区》	地域教育推進協議会の活動支援 《4地区》	地域教育推進協議会の活動支援 《4地区》	地域教育推進協議会の活動支援 《4地区》	地域教育推進協議会の活動支援 《4地区》
	地域学校協働活動推進員の配置 検討	地域学校協働活動推進員の配置 1人	地域学校協働活動推進員の配置 3人 (累計4人)	地域学校協働活動推進員の配置 (累計4人)	地域学校協働活動推進員の配置 4人 (累計4人)
	—	—	—	学校支援本部と地域教育推進協議会の連携・強化モデル事業実施	学校支援本部と地域教育推進協議会の連携・強化モデル事業実施
	中学生レスキュー隊 中学校全校	中学生レスキュー隊 中学校全校	中学生レスキュー隊 中学校全校	中学生レスキュー隊 中学校全校	中学生レスキュー隊 中学校全校
経費(百万円)		6	8	8	22

※1 地域学校協働活動推進員: 地域学校協働活動に関して、教育委員会の施策に協力して、地域住民等と学校の情報共有を図るとともに、地域学校協働活動を行う地域住民等に対する助言等の援助を行う者

※2 中学生レスキュー隊: 災害時に役立つ知識・技能を身に付ける活動を通し、中学生の防災意識や社会貢献意識の向上を図ることを目的に、中学校全校に編成されている教育課程外の活動組織

施策26 多様な地域活動への支援

1 地域活動団体への支援

【重点】

町会・自治会をはじめとした多様な地域団体による地域の絆を深める取組や地域情報を発信・共有する取組について、ICT化への対応も含めた支援を行うとともに、すぎなみ協働プラザやNPO支援基金の運営を通して、地域の課題解決に向けた自主的な活動に取り組んでいる区内のNPO法人等の地域団体を支援していきます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	町会・自治会活動支援 「まちの絆向上事業」 ※1助成 20町会	町会・自治会活動支援 「まちの絆向上事業」 助成 イベント及び加入率 向上事業助成 20町会 地域連携事業助成 3町会	町会・自治会活動支援 「まちの絆向上事業」 助成 イベント及び加入率 向上事業助成 20町会 地域連携事業助成 4町会	町会・自治会活動支援 「まちの絆向上事業」 助成 イベント及び加入率 向上事業助成 20町会 地域連携事業助成 5町会	町会・自治会活動支援 「まちの絆向上事業」 助成 イベント及び加入率 向上事業助成 60町会 地域連携事業助成 12町会
	町会・自治会掲示板 設置等助成 70基	町会・自治会掲示板 設置等助成 60基	町会・自治会掲示板 設置等助成 60基	町会・自治会掲示板 設置等助成 60基	町会・自治会掲示板 設置等助成 180基
	NPO等活動支援 NPO活動資金助成 実施 協働提案制度※2 実施	NPO等活動支援 NPO活動資金助成 実施 協働提案制度 実施	NPO等活動支援 NPO活動資金助成 実施 協働提案制度 実施	NPO等活動支援 NPO活動資金助成 実施 協働提案制度 実施	NPO等活動支援 NPO活動資金助成 実施 協働提案制度 実施
	—	地域活動団体ICT活用 支援 講習会等の実施	地域活動団体ICT活用 支援 講習会等の実施	地域活動団体ICT活用 支援 講習会等の実施	地域活動団体ICT活用 支援 講習会等の実施
	経費(百万円)	11	11	12	34

※1 まちの絆向上事業:区内の町会・自治会が、加入促進及びコミュニティ活動の活性化を図るため主体的に実施する事業(区は事業を支援するため助成金を交付)

※2 協働提案制度:区と地域活動団体(NPO法人や地域団体、事業者など)が、お互いの立場を尊重し、十分に協議を行い役割を分担しながら、地域の公共的な課題の解決に向けて取り組んでいく制度

学び 共に認め合い、みんなで創る学びのまち

2 地域活動を担う人材の育成・支援

すぎなみ地域大学^{※1}では、講座で学んだ知識・技術を生かして、区の行政課題を共に解決するための人材や地域課題の解決に取り組んでいる地域団体の人材など、様々な分野で活動する人材を育成します。また、すぎなみ協働プラザ^{※2}では、講座の実施や相談業務を通じて団体の活動支援を行い、杉並ボランティアセンター^{※3}では各種講座を実施するとともに、ボランティアに関する相談を受け、区民ボランティア活動の促進を行うなど、自ら積極的に地域活動を担う人材の育成・支援を進めていきます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	すぎなみ地域大学の運営 25講座	すぎなみ地域大学の運営 25講座	すぎなみ地域大学の運営 25講座	すぎなみ地域大学の運営 25講座	すぎなみ地域大学の運営 75講座
	すぎなみ協働プラザによる人材育成・活動支援 5講座	すぎなみ協働プラザによる人材育成・活動支援 5講座	すぎなみ協働プラザによる人材育成・活動支援 5講座	すぎなみ協働プラザによる人材育成・活動支援 5講座	すぎなみ協働プラザによる人材育成・活動支援 15講座
	杉並ボランティアセンターによる人材育成・活動支援 5講座	杉並ボランティアセンターによる人材育成・活動支援 5講座	杉並ボランティアセンターによる人材育成・活動支援 5講座	杉並ボランティアセンターによる人材育成・活動支援 5講座	杉並ボランティアセンターによる人材育成・活動支援 15講座
	経費(百万円)	16	16	16	48

※1 すぎなみ地域大学:地域活動やボランティア活動に必要な知識・技術を学ぶ講座を開講し、地域社会に貢献する人材、協働の担い手を育成する事業

※2 すぎなみ協働プラザ:NPOや地域活動団体を支援するために、相談業務、各種講座の開講、情報発信、団体間の連携・協働のコーディネート等を提供する中間支援組織

※3 杉並ボランティアセンター:区民のボランティア活動や地域活動への参加を支援するために、ボランティア活動のサポート、研修・講座を実施し、ボランティアのコーディネートを行う組織

学び 共に認め合い、みんなで創る学びのまち

3 地域活動拠点の整備

区内7地域の集会拠点として設置している地域区民センターについて、高円寺地域区民センター及び荻窪地域区民センターの2か所の改修を行い、施設の保全と機能向上を図ります。また、コミュニティふらっと^{※1}の計画的整備を進め、身近な地域における多世代の交流及び活動の場を広げます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	高円寺地域区民センター 改修 0.3所	高円寺地域区民センター 改修 0.7所	—	—	高円寺地域区民センター 改修 0.7所
	荻窪地域区民センター 検討	荻窪地域区民センター 検討	荻窪地域区民センター 設計 1所	荻窪地域区民センター 改修 0.6所	荻窪地域区民センター 検討 設計 1所 改修 0.6所
	(仮称)コミュニティ ふらっと高円寺南 設計 0.5所	(仮称)コミュニティ ふらっと高円寺南 設計 0.1所 建設 0.2所	(仮称)コミュニティ ふらっと高円寺南 建設 0.5所	(仮称)コミュニティ ふらっと高円寺南 建設 0.3所	(仮称)コミュニティ ふらっと高円寺南 設計 0.1所 建設 1所
	—	(仮称)コミュニティ ふらっと上荻窪 設計 0.6所	(仮称)コミュニティ ふらっと上荻窪 設計 0.4所	(仮称)コミュニティ ふらっと上荻窪 建設 0.4所	(仮称)コミュニティ ふらっと上荻窪 設計 1所 建設 0.4所
	—	(仮称)コミュニティ ふらっと本天沼 設計 1所	(仮称)コミュニティ ふらっと本天沼 改修 1所	—	(仮称)コミュニティ ふらっと本天沼 設計 1所 改修 1所
	—	—	(仮称)コミュニティ ふらっと浜田山 設計 1所	(仮称)コミュニティ ふらっと浜田山 改修 1所	(仮称)コミュニティ ふらっと浜田山 設計 1所 改修 1所
	—	(仮称)コミュニティ ふらっと方南 設計 1所	(仮称)コミュニティ ふらっと方南 改修 1所	—	(仮称)コミュニティ ふらっと方南 設計 1所 改修 1所
	—	—	(仮称)コミュニティ ふらっと高井戸西 設計 0.5所	(仮称)コミュニティ ふらっと高井戸西 設計 0.5所	(仮称)コミュニティ ふらっと高井戸西 設計 1所
経費(百万円)	2,735	587	1,788	5,110	

※1 コミュニティふらっと: 乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設

文化・スポーツ

文化を育み継承し、スポーツに親しむことのできるまち

施策27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進

1 文化・芸術活動の創造と発信

文化の拠点である杉並芸術会館(座・高円寺)及び杉並公会堂で、指定管理者やPFI事業者の独自のノウハウを生かした施設運営を行い、周辺地域のにぎわいの創出につなげるとともに、多世代で楽しめる舞台芸術や良質な音楽を提供します。

また、日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づき、区役所ロビーコンサートや公開リハーサルなどの提携事業を実施します。さらに、NPO法人との協働により運営する「スギナミ・ウェブ・ミュージアム^{※1}」や文化・芸術活動に関する情報紙の発行等により、効果的な情報発信を図っていきます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	杉並芸術会館及び杉並公会堂での文化芸術の提供 公演回数 杉並芸術会館 30回 杉並公会堂 30回	杉並芸術会館及び杉並公会堂での文化芸術の提供 公演回数 杉並芸術会館 30回 杉並公会堂 30回	杉並芸術会館及び杉並公会堂での文化芸術の提供 公演回数 杉並芸術会館 30回 杉並公会堂 30回	杉並芸術会館及び杉並公会堂での文化芸術の提供 公演回数 杉並芸術会館 30回 杉並公会堂 30回	杉並芸術会館及び杉並公会堂での文化芸術の提供 公演回数 杉並芸術会館 90回 杉並公会堂 90回
	日本フィル友好提携事業の実施	日本フィル友好提携事業の実施	日本フィル友好提携事業の実施	日本フィル友好提携事業の実施	日本フィル友好提携事業の実施
	「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の運営・発信	「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の運営・発信	「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の運営・発信	「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の運営・発信	「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の運営・発信
	情報紙「コミュかる」の発行 6回	情報紙「コミュかる」の発行 4回	情報紙「コミュかる」の発行 4回	情報紙「コミュかる」の発行 4回	情報紙「コミュかる」の発行 12回
経費(百万円)	2	2	2	6	

※1 スギナミ・ウェブ・ミュージアム: 区とNPO法人が協働し運営している、パソコンやスマートフォンで美術作品を鑑賞することができる仮想美術館

2 文化・芸術活動の支援

【重点】

区内での多様な文化・芸術の振興を図るため、区内の文化芸術活動に造詣の深い有識者等を中心とした文化・芸術振興審議会を運営するとともに、区民や区内に拠点を持つ団体が行う幅広いジャンルの文化活動や創造的な芸術活動が積極的に展開されるよう支援していきます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	文化・芸術振興審議会運営	文化・芸術振興審議会運営	文化・芸術振興審議会運営	文化・芸術振興審議会運営	文化・芸術振興審議会運営
	文化芸術活動助成 50件	文化芸術活動助成 25件	文化芸術活動助成 25件	文化芸術活動助成 25件	文化芸術活動助成 75件
経費(百万円)	11	11	11	33	

文化・スポーツ

文化を育み継承し、スポーツに親しむことのできるまち

3 国際・国内交流の推進

幅広い世代が国際友好都市^{※1}及び国内交流自治体^{※2}と教育や文化、スポーツ等を通じて触れ合い、多様な文化への理解を深めるとともに、多様な人々との交流を進める機会を創出します。

また、「地方創生・交流自治体連携フォーラム^{※3}」の開催や交流自治体が実施するお試し移住事業等への参加支援等を通じて、交流自治体間の連携を深め、双方が活性化し新しい人の流れをつくる地方創生の取組を推進します。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	国際友好都市との交流実施	国際友好都市との交流実施	国際友好都市との交流実施	国際友好都市との交流実施	国際友好都市との交流実施
	国際交流や多文化共生を推進する人材の育成・啓発	国際交流や多文化共生を推進する人材の育成・啓発	国際交流や多文化共生を推進する人材の育成・啓発	国際交流や多文化共生を推進する人材の育成・啓発	国際交流や多文化共生を推進する人材の育成・啓発
	国内交流自治体との交流 観光物産展 37回 情報発信 2回	国内交流自治体との交流 観光物産展 37回 情報発信 2回	国内交流自治体との交流 観光物産展 37回 情報発信 2回	国内交流自治体との交流 観光物産展 37回 情報発信 2回	国内交流自治体との交流 観光物産展 111回 情報発信 6回
	地方創生に向けた交流自治体との連携の推進 地方創生・交流自治体連携フォーラム 1回	地方創生に向けた交流自治体との連携の推進 地方創生・交流自治体連携フォーラム 1回	地方創生に向けた交流自治体との連携の推進 地方創生・交流自治体連携フォーラム 1回	地方創生に向けた交流自治体との連携の推進 地方創生・交流自治体連携フォーラム 1回	地方創生に向けた交流自治体との連携の推進 地方創生・交流自治体連携フォーラム 3回
	交流自治体への新しい人の流れの創出支援の実施	交流自治体への新しい人の流れの創出支援の実施	交流自治体への新しい人の流れの創出支援の実施	交流自治体への新しい人の流れの創出支援の実施	交流自治体への新しい人の流れの創出支援の実施
	特別区全国連携プロジェクト ^{※4} の推進	特別区全国連携プロジェクトの推進	特別区全国連携プロジェクトの推進	特別区全国連携プロジェクトの推進	特別区全国連携プロジェクトの推進
経費(百万円)	1	1	1	3	

※1 国際友好都市: 友好都市協定を締結している、オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州ウィロビー市及び大韓民国ソウル特別市瑞草区

※2 国内交流自治体: 国内交流自治体: 区と友好自治体協定や災害時相互援助協定等を取り交わし、教育・スポーツ・文化・経済等の分野で住民交流を相互に深めている国内の市町村

※3 地方創生・交流自治体連携フォーラム: 都市と地方の共存共栄を目指す地方創生に向け、杉並区と交流のある8自治体の首長らが集まって自治体連携のあり方や課題について、具体的な政策形成に向けた討議を行う機会

※4 特別区全国連携プロジェクト: 東京23区が各地域との新たな連携を模索し、東京を含めた各地域の活性化、まちの元気につながる取組を展開するもの

4 平和事業の推進

平和都市宣言を行った自治体として、戦争の悲惨さと平和の尊さを区民と共有するとともに、次世代を担う子どもたちの平和を希求する心を育てるため、啓発事業を実施します。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	平和のつどい 2回	平和のつどい 2回	平和のつどい 2回	平和のつどい 2回	平和のつどい 6回
	平和のためのポスターコンクール実施	平和のためのポスターコンクール実施	平和のためのポスターコンクール実施	平和のためのポスターコンクール実施	平和のためのポスターコンクール実施
経費(百万円)	1	1	1	3	

施策28 次世代への歴史・文化の継承

1 歴史・文化に親しむ機会の充実

【重点】

歴史的な建造物や区指定・登録有形文化財を生かした杉並らしい展示を通して地域に対する誇りや郷土愛を育むとともに、関係団体と幅広く連携しながら、日本の古典や郷土芸能に親しむ事業を実施し、伝統文化への理解、促進につなげます。また、荻外荘の公開に向けて陽明文庫^{※1}との共同調査を実施するなど、連携強化を図ります。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	杉並らしい特別展・企画展の実施 4回	杉並らしい特別展・企画展の実施 4回	杉並らしい特別展・企画展の実施 4回	杉並らしい特別展・企画展の実施 4回	杉並らしい特別展・企画展の実施 12回
	陽明文庫との共同調査実施 —	陽明文庫との共同調査実施 文化財の収集・保存	陽明文庫との共同調査実施 文化財の収集・保存	陽明文庫との共同調査実施 文化財の収集・保存	陽明文庫との共同調査実施 文化財の収集・保存
	伝統文化・郷土芸能への理解促進 2回	伝統文化・郷土芸能への理解促進 2回	伝統文化・郷土芸能への理解促進 2回	伝統文化・郷土芸能への理解促進 2回	伝統文化・郷土芸能への理解促進 6回
経費(百万円)		8	6	8	22

※1 陽明文庫:昭和前期に内閣総理大臣を三度務めた近衛文麿が京都市に設立した歴史資料館。近衛家に伝習した古文書、古典籍、古美術工芸品等を一括して保存管理している

2 区の歴史・文化情報の発信

【重点】

区制施行90周年に合わせて、区のこれまでの歩みを次世代に継承する取組を実施するとともに、継続的に歴史・文化に関する情報を発信します。また、新たな区史の編さんに向けた歴史資料の収集や歴史的資料のデジタルアーカイブ^{※1}化の調査・研究など、来るべき区制施行100周年を見据えつつ、区の歴史・文化情報発信の充実に向けて取り組みます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	区制施行90周年記念事業 検討	区制施行90周年記念事業 実施	—	—	区制施行90周年記念事業 実施
	—	—	周年事業コンテンツ等を活用した歴史・文化の情報発信	周年事業コンテンツ等を活用した歴史・文化の情報発信	周年事業コンテンツ等を活用した歴史・文化の情報発信
	新たな区史編さん調査・研究	新たな区史編さん調査・研究	新たな区史編さん調査・研究	新たな区史編さん調査・研究	新たな区史編さん調査・研究
	歴史的資料のデジタルアーカイブ化調査・研究	歴史的資料のデジタルアーカイブ化調査・研究	歴史的資料のデジタルアーカイブ化調査・研究	歴史的資料のデジタルアーカイブ化調査・研究	歴史的資料のデジタルアーカイブ化調査・研究
経費(百万円)		0	0	0	0

※1 デジタルアーカイブ:重要な文書や文化資源等の情報をデジタル化して記録・管理し、さらにそのデータをインターネット上で共有したり活用したりする仕組み

施策29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり

1 スポーツ・運動に親しむことができる場と機会の充実 **【重点】**

指定管理者制度を導入している体育施設では、民間事業者の創意工夫による多様なスポーツ振興事業を実施します。また、各種のスポーツを行っている区民・団体等の成果発表と、交流の場となる区民体育祭等を開催するとともに、地域のスポーツ団体や人材の活動支援を図ります。さらに、区民・団体によるスポーツ・運動の推進に向け、学校教育で使用する時間外における学校施設管理権限の一部を区長部局へ移管することを視野に、地域に広く存在する学校施設を一層有効活用するための新たなモデル事業を実施し、これらの取組を通して、より多くの方々が、スポーツ・運動に親しむことができる場と機会を充実していきます。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	スポーツ振興事業実施	スポーツ振興事業実施	スポーツ振興事業実施	スポーツ振興事業実施	スポーツ振興事業実施
	チャレンジ・アスリート※1の実施	チャレンジ・アスリートの実施	チャレンジ・アスリートの実施	チャレンジ・アスリートの実施	チャレンジ・アスリートの実施
	総合型地域スポーツクラブ※2 設立支援 運営支援	総合型地域スポーツクラブ 設立支援 運営支援	総合型地域スポーツクラブ 設立支援 運営支援	総合型地域スポーツクラブ 設立支援 運営支援	総合型地域スポーツクラブ 設立支援 運営支援
	学校施設の有効活用 《1校》 モデル実施・検証	学校施設の有効活用 《1校》 モデル実施・検証	学校施設の有効活用 《1校》 モデル実施・検証 学校施設管理権限 (一部)の区長部局 への移管 拡大に向けた検討	学校施設の有効活用 《1校》 本格実施 拡大に向けた検討	学校施設の有効活用 《1校》 モデル実施・検証 学校施設管理権限 (一部)の区長部局 への移管 本格実施 拡大に向けた検討
	経費(百万円)		3	3	3

※1 チャレンジ・アスリート:子どもたちがトップアスリートと共に、オリンピック種目・パラリンピック種目を楽しむ体験や、スポーツに関する仕事の体験など、多様な体験をすることで、夢に向かって自らの意思でスポーツを選びチャレンジする子どもを育成する取組

※2 総合型地域スポーツクラブ:複数の種目が用意され(多種目)、子どもから高齢者まで(多世代)、また、初心者からトップレベルまで(多志向)が身近な地域でスポーツに親しむことを目指した、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ

文化・スポーツ

文化を育み継承し、スポーツに親しむことのできるまち

2 障害者スポーツの推進

【重点】

障害者が身近な地域のスポーツ施設で気軽にスポーツ・運動に親しめるよう、障害者スポーツ教室を開催します。また、障害者のスポーツに対するニーズに合わせたプログラム(ユニバーサルタイム^{※1})の実施に合わせて、障害者が安心して参加できるように支援体制を構築します。

ハード面については、障害当事者等によるモニタリングでの意見や障害者のスポーツ環境向上に向けたネットワークにおいて共有された課題を踏まえて、改善・改良していきます。ソフトとハードの両面から一体的にバリアフリーを進めることで、障害の有無にかかわらず、多様な人々が利用しやすい施設のユニバーサルデザイン^{※2}化を進めます。

3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
障害者スポーツ環境の充実 障害者スポーツ教室の実施	障害者スポーツ環境の充実 障害者スポーツ教室の実施 ユニバーサルタイムの実施と関係団体等による支援体制の構築	障害者スポーツ環境の充実 障害者スポーツ教室の実施 ユニバーサルタイムの実施と関係団体等による支援体制の構築	障害者スポーツ環境の充実 障害者スポーツ教室の実施 ユニバーサルタイムの実施と関係団体等による支援体制の構築	障害者スポーツ環境の充実 障害者スポーツ教室の実施 ユニバーサルタイムの実施と関係団体等による支援体制の構築
施設のユニバーサルデザインの推進 設備等の改善・改良	施設のユニバーサルデザインの推進 設備等の改善・改良	施設のユニバーサルデザインの推進 設備等の改善・改良	施設のユニバーサルデザインの推進 設備等の改善・改良	施設のユニバーサルデザインの推進 設備等の改善・改良
経費(百万円)	2	4	4	10

※1 ユニバーサルタイム:参加者が障害の種類や程度、好みなどに応じて種目や内容を選択することができ、適切な指導を受けながらスポーツ・運動を気軽に楽しめるプログラム

※2 ユニバーサルデザイン:年齢・性別・能力・国籍等の違いにかかわらず、すべての人が使いやすいように建築物、製品、環境及び制度やサービスなどをあらかじめデザインすること

3 体育施設の整備・充実

体育施設の整備充実のため、新たに下高井戸おおぞら公園内に多目的スポーツコート^{※1}等を整備します。また、老朽化した設備については、計画的に修繕・改修を行っていきます。

3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
—	下高井戸おおぞら公園 多目的スポーツコート等整備 管理棟 設計	下高井戸おおぞら公園 多目的スポーツコート等整備 管理棟 設計・工事	下高井戸おおぞら公園 多目的スポーツコート等整備 管理棟 工事 多目的スポーツコート 工事	下高井戸おおぞら公園 多目的スポーツコート等整備 管理棟 設計・工事 多目的スポーツコート 工事
経費(百万円)	4	120	165	289

※1 多目的スポーツコート:サッカーやラグビー、フットサルなど、様々なスポーツや運動に親しめる運動スペース